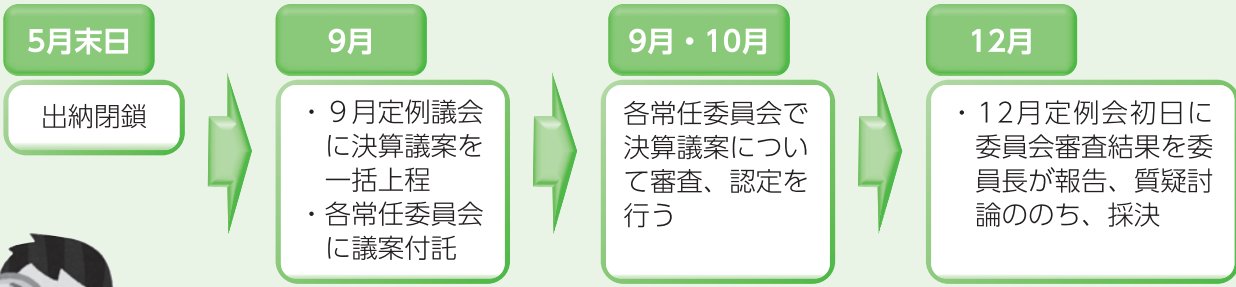


平成26年度決算議案審議の流れ

議会では時間をかけて、決算を審議しています。



各常任委員会での決算審査の中から質疑を Pick up!

Q 給食

給食センターで実施されている複数献立の利点と課題は？

A

食材調達について1回当たりの購入量をセーブでき、地場産食材の活用にメリットがある一方、調理時間が増加することに課題がある。現在複数献立は週2回行っている。

Q ごみ

ごみ袋の販売利益は？また、その用途は？

A

平成26年度の収益部分は6,585万円である。用途としては、資源化物回収団体等への報償金、生ごみ処理容器設置事業補助金、ごみ分別の啓発事業などに充当している。

Q 林業

林業費の不用額が5,000万円を超えた原因は？

A

不要額については、他団体の整備事業が重なったことによる市有林整備事業の遅れ、木材価格の下落による市有林収入間伐の見合わせなどで、委託料・交付金等の執行が減少したことが理由である。

Q 歴史まちづくり

重伝建の補助金による整備保存の状況は？

A

出雲街道の町家の修理事業4件、修景事業1件に補助を行っている。城東町並み保存については、今後、苅田酒造とその付属町家2件について整備していきたい。

議会から市政に対して

意見！要望！

・聖域なき補助金、負担金の見直しを（総務文教委員会）

補助金、負担金について、津山市にとってメリットや重要度を判断して査定をすること。

・ごみの減量・分別については引き続き啓発を（厚生委員会）

平成27年12月からの新クリーンセンターが稼働後も、生ごみ処理容器設置事業など、ごみの減量、分別の事業・啓発を続けていくこと。

・姉妹都市等との交流を産業交流まで深める取り組みを（産業委員会）

平成26年度は宮古島市との双方の物産展、人的交流があったが、単なる記念事業に終わらず、引き続き産業を含めた交流となるよう行政が主導して取り組むこと。

・水道事業の有収率（※）の向上を（建設水道委員会）

水道事業は、平成29年度に一般会計繰入の多い簡易水道事業を統合し、ますます厳しくなる。現在、水道事業の有収率が低下してきており、低下の一因である水道管の老朽化への対策を講じること。

討論

各委員会の審議結果を受けて、1名の議員が反対討論を行いました。

日本共産党津山市議団

美見みち子

苫田ダムに関する決算事案、消費税増税、自衛隊募集事務委託金、マイナンバー制度整備事業、アルネビル、可燃ごみ収集の民間委託拡大に関する一般会計決算に反対する。

国保会計は一般会計繰入を増やし保険料を下げるべきである点で反対である。

介護保険、後期高齢者医療会計は制度のあり方が悪く、この決算に反対である。

※有収率…給水量と収入の比率